

# 事業概要

Overview of the project



— 姫川水系平川・松川 —  
(長野県北安曇郡白馬村)



— 姫川水系松川 —  
猿倉砂防堰堤 令和7年完成  
(長野県北安曇郡白馬村)



日向山第1号床固工  
— 信濃川水系箆川 —  
令和10年完成予定  
(長野県大町市)

国土交通省 北陸地方整備局  
松本砂防事務所



<https://www.hrr.mlit.go.jp/matsumoto/>



— 令和8年度版 —



# 松本砂防事務所の所掌事務及び管内区域

## 事務所の所掌

・砂防工事：犀川（梓川）流域、高瀬川流域、姫川流域

（松本市、大町市、白馬村、小谷村及び糸魚川市）

・砂防工事（火山噴火対策）に関する調査：新潟焼山

職員数(令和8年4月1日時点)  
事務官 12名  
技 官 19名 合計31名

## 管内区域

### □梓川流域(信濃川上流水系)

流域面積 559km<sup>2</sup>

幹川流路延長 50 km

### □高瀬川流域(信濃川上流水系)

流域面積 350km<sup>2</sup>

幹川流路延長 71 km

### □姫川流域(姫川水系)

流域面積 691km<sup>2</sup>

幹川流路延長 46 km

### ■三流域全体流域面積：約1,600km<sup>2</sup>

◆松本砂防事務所管内における常時観測火山※

3火山（焼岳、新潟焼山及び乗鞍岳）

※火山噴火予知連絡会によって選定された「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山」50火山



## 令和8年度 事業費

（単位：百万円）

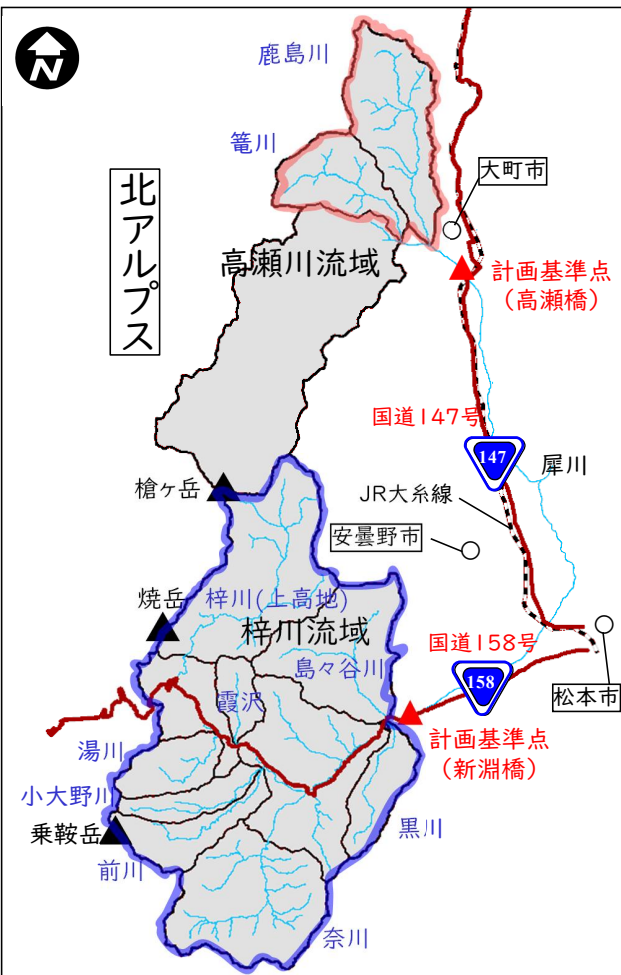
| 水系名等                             | 事業区分     | R6年度 | R7年度    |     | R8年度  |
|----------------------------------|----------|------|---------|-----|-------|
|                                  |          | 補正   | 当初      | 補正  | 当初    |
| 信濃川上流<br>21箇所<br>(松本市、大町市)       | 直轄砂防事業   | 220  | 1,293   | 80  | 1,233 |
|                                  | 直轄火山砂防事業 | 0    | 696     | 140 | 756   |
|                                  | 小計       | 220  | 1,989   | 220 | 1,989 |
| 姫川<br>17箇所<br>(白馬村、小谷村、<br>糸魚川市) | 直轄砂防事業   | 230  | 1,514.5 | 65  | 1,609 |
|                                  | 直轄火山砂防事業 | 120  | 833.9   | 15  | 752   |
|                                  | 小計       | 350  | 2,348.4 | 80  | 2,361 |
| 直轄砂防事業費                          |          | 570  | 4,337.4 | 300 | 4,350 |

※ 事業費には業務勘定を含んでいない。

直轄砂防事業費：R7補正+R8当初=4,650（百万円）

| 事業名           | 事業期間            | 総事業費  | 事業箇所数 | 整備済み箇所数            |
|---------------|-----------------|-------|-------|--------------------|
| 信濃川上流水系直轄砂防事業 | 平成22年～<br>令和12年 | 473億円 | 63箇所  | 16箇所<br>(令和2年度末時点) |
| 姫川水系直轄砂防事業    | 平成22年～<br>令和23年 | 976億円 | 70箇所  | 31箇所<br>(令和6年度末時点) |

# 信濃川上流域の概要 ～信濃川上流水系直轄砂防事業～



## 梓川流域

- 梓川流域には、松本市街地のほか、流域内には集落、観光施設、重要交通網である国道158号が整備されています。
- 流域は中部山岳国立公園に指定された自然環境豊かな地域であり、特に上高地は良好な自然環境・景観を有した日本でも屈指の観光地です。

## 高瀬川流域

- 高瀬川流域は、大町市街地のほか、流域内には集落、観光施設、重要交通網である国道147号が整備されています。
- 流域は中部山岳国立公園に指定された自然環境豊かな地域です。

- 崩壊多発地帯 (厳しい気象条件、活火山による温泉作用)
- 急流河川 (平均河床勾配: 梓川1/20、高瀬川1/13)
- 多雨地帯 (年間降水量: 梓川上流域約2,800mm)

土砂が生産・流出しやすい自然条件

## —信濃川上流域における主な土砂災害—

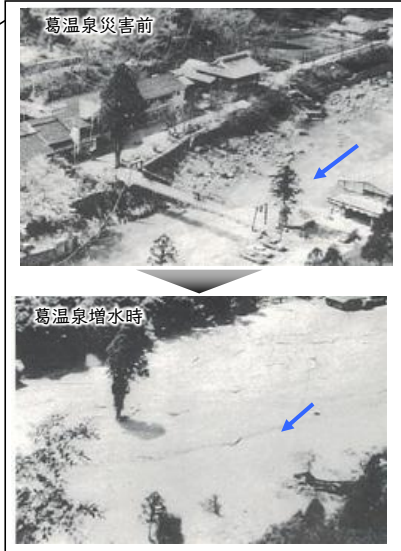
### ■平成14年 下白沢土石流災害



### ■平成23年 産屋沢土石流災害



### ■昭和44年 高瀬川土砂氾濫災害

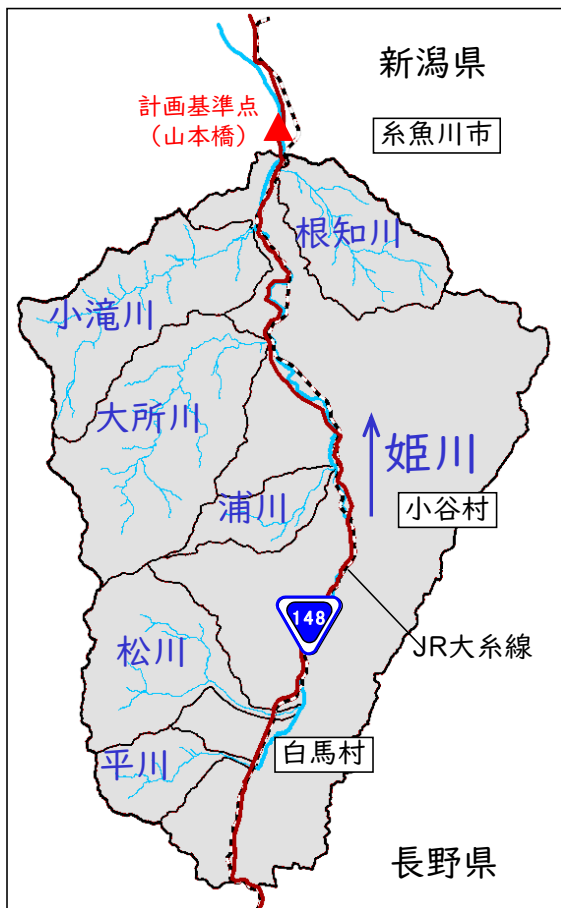


### ■昭和20年 島々谷川災害





# 姫川流域の概要 ～姫川水系直轄砂防事業～



## 姫川流域

- 姫川は、長野県白馬村、小谷村、新潟県糸魚川市の1市2村を流下します。姫川扇状地上には糸魚川市街地、流域内には集落、観光施設等が広がっています。
- 流域内には、重要交通網である国道148号、JR大系線が、姫川本川に沿って整備されています。
- 流域の一部は、中部山岳国立公園、上信越高原国立公園に指定される自然環境豊かな地域です。

### ● 崩壊多発地帯

(糸魚川-静岡構造線を境に、東側はフォッサマグナに属し、新第三紀層となっており、地すべり活動が活発。西の北アルプス側は、古生層の古期岩類からなり、脆く崩れやすい。)

### ● 急流河川(平均河床勾配:姫川本川1/16)

### ● 多雨地帯

(年間降水量:姫川上流域約1,900mm、下流域約2,800mm、年間積雪深:約100cm)

土砂が生産・流出しやすい自然条件

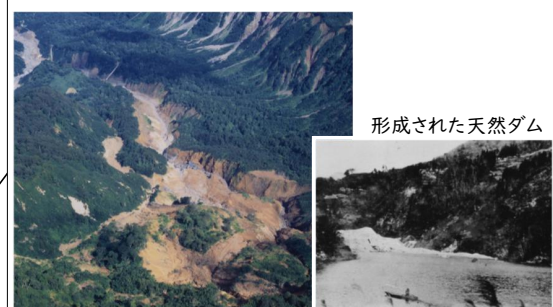
## ー姫川流域における主な土砂災害ー

### ■ 平成7年7月姫川災害



姫川温泉付近の被災状況

### ■ 明治44年8月 稗田山大崩壊



今も土砂流出が続く稗田山崩壊地

### ■ 昭和34年9月松川災害



土石流で埋まった水神宮橋

旧北城村役場東の浸水状況



# 令和8年度 主な取り組み

## 1. 事業関係

### (1) 信濃川上流水系

- 1) 梓川流域上高地 上千丈沢砂防堰堤の推進
- 2) 梓川流域上高地 梓川河床上昇緩和対策の取り組み
- 3) 梓川流域 境川溪流保全工(Ⅱ期)の推進
- 4) 高瀬川流域 日向山床固工群の推進
- 5) 高瀬川流域 丸山砂防堰堤改築の推進

### (2) 姫川水系

- 1) 松川・平川流域 砂防堰堤改築の推進
- 2) 浦川流域 浦川第9号砂防堰堤の推進
- 3) 浦川流域におけるICT施工(無人化施工)
- 4) 小滝川流域 田中川砂防堰堤の推進
- 5) 姫川流域 葛葉上流第4号床固工の推進

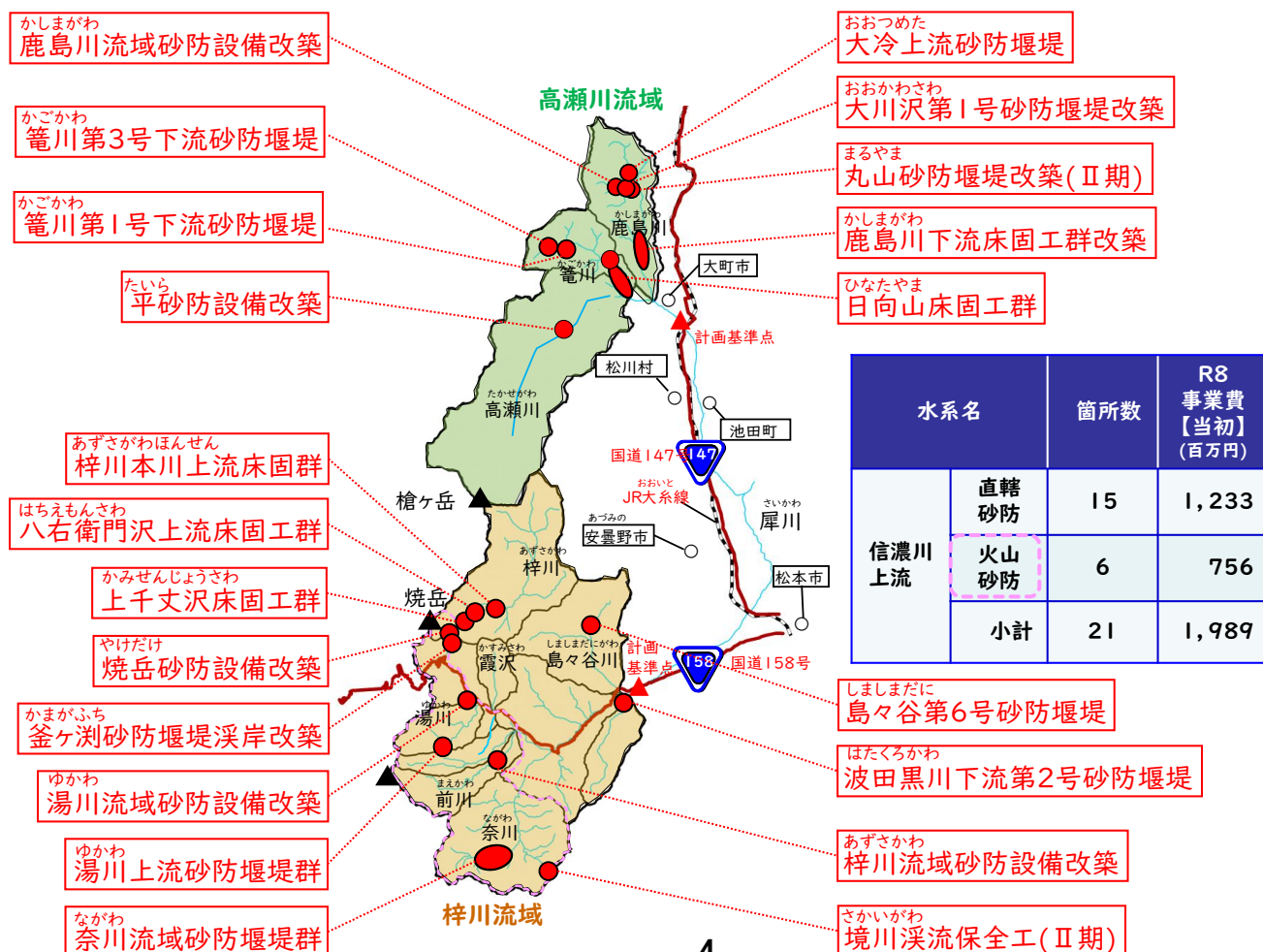
## 2. 危機管理関係

- 1) 大規模土砂災害への対応
- 2) 大規模土砂災害対応力の強化
- 3) 焼岳・乗鞍岳火山噴火緊急減災対策の推進

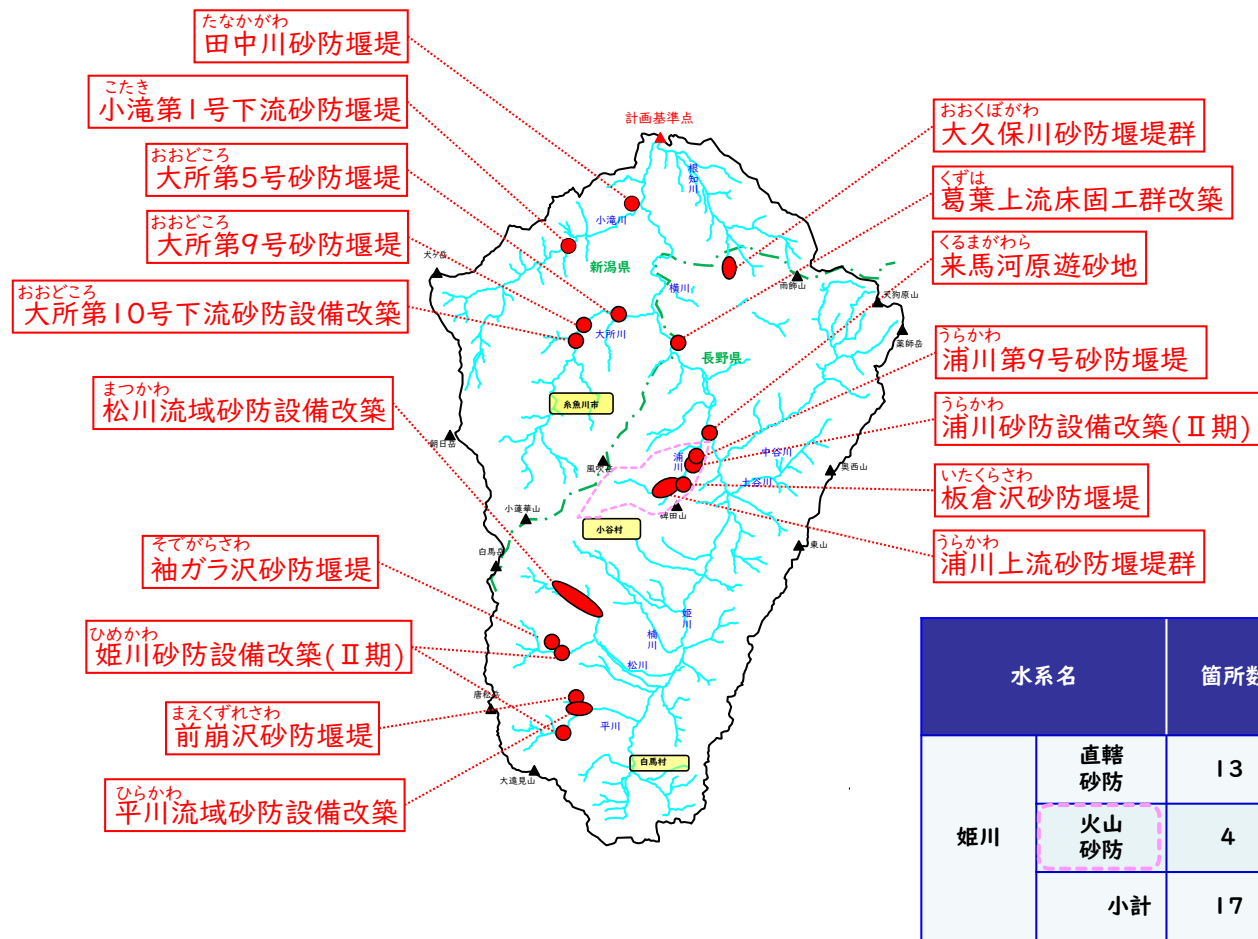
## 3. これまでの様々な取組

- 1) 砂防事業の効果(信濃川上流水系梓川流域)
- 2) 砂防事業の効果(姫川水系松川流域)
- 3) 砂防事業の有効活用[ストック効果](姫川水系平川・松川流域)
- 4) 砂防事業の効果[土砂・洪水氾濫に伴う被害軽減](姫川水系)
- 5) 砂防インフラツーリズム(姫川水系 おたり直轄砂防めぐり)
- 6) 工事安全対策の強化

# 事業実施箇所 ～信濃川上流水系～



# 事業実施箇所 ～姫川水系～



## 1-1-1 信濃川上流水系梓川流域 上高地上千丈沢砂防堰堤の推進

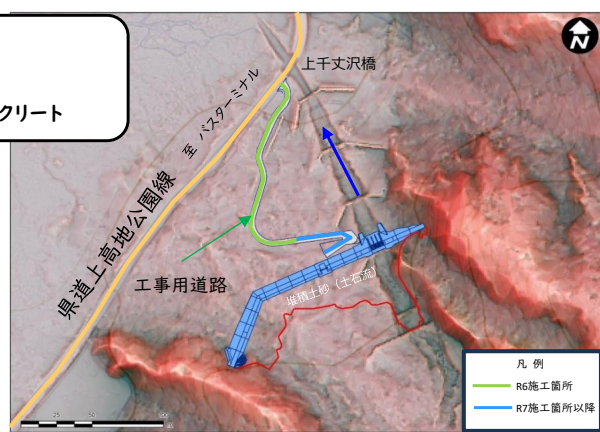
上高地内では、昭和54年8月発生の土石流により県道上高地公園線が途絶し、観光客約3,000人が孤立する災害が発生しています。近年においても局所的大雨により土石流が発生し、県道上高地公園線への危険性が高まる事態も生じています。そのため、土石流対策として上千丈沢に砂防堰堤を整備を推進します。



計画施設の視点場からの見え方(夏・秋期)



上千丈沢砂防堰堤 諸元  
堰堤高:13.5m  
堰堤長:181.5m  
堰堤形式:透過型重力式コンクリート



上千丈沢砂防堰堤計画図

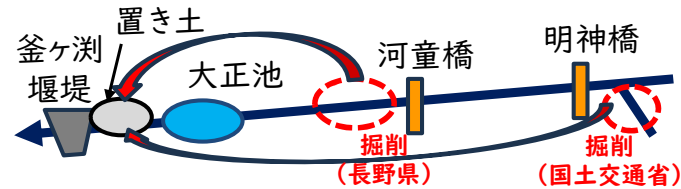


## 1-1-2 信濃川上流水系梓川流域 上高地河床上昇緩和対策の取り組み

国土交通省・長野県では「上高地における河床上昇対策の基本的な考え方と実施方針（令和4年3月）」に基づき、上高地での河床上昇緩和対策に取り組んでいます。

令和7年度は釜ヶ淵堰堤上流に置き土9,300m<sup>3</sup>を実施  
（令和12年度までに毎年1万m<sup>3</sup>程度の置き土を予定）

釜ヶ淵堰堤上流の置き土は、河床上昇緩和対策における掘削土砂を自然に任せて下流へ流すことを試行的に実施している。  
（釜ヶ淵堰堤下流のモニタリングも併せて実施予定）



## 1-1-3 信濃川上流水系梓川流域 境川渓流保全工(Ⅱ期)の推進

梓川支川の奈川上流域は、荒廃が著しい渓流や崩壊した斜面が多数存在し、度重なる出水により流出した不安定な土砂が河床内に大量に堆積しており、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

境川渓流保全工(Ⅱ期)では、渓流保全工の整備を実施します。

国土強靱化予算を活用し整備

### ◆昭和58年奈川水害



昭和58年9月28日、台風10号による集中豪雨により、奈川本川、境川、栃洞沢などが氾濫し、寄合渡地区に土砂災害をもたらしました。



3.7万m<sup>3</sup>の河床からの  
土砂生産を抑制



## 1-1-4 信濃川上流水系高瀬川流域 日向山床固工群の推進

簗川流域は、脆弱な地質が分布する北アルプスを源流に抱え、河川も急流であるため過去から土砂流出を伴う被害が発生しています。下流域には大町温泉郷や別荘などの開発が行われていることから、土砂災害を防止するため、日向山床固工群を整備しています。

日向山床固工群の整備に伴う河道拡幅のため、県道槍ヶ岳線・簗川橋の架け替えが完了し、令和4年10月21日に供用開始。令和8年度は日向山第1号床固工の整備を推進していきます。

(令和10年度完成予定)

- ・ 流下能力 約500m<sup>3</sup>/s  
→約770m<sup>3</sup>/s に向  
上
- ・ 約23万m<sup>3</sup>の河床からの  
土砂生産を抑制

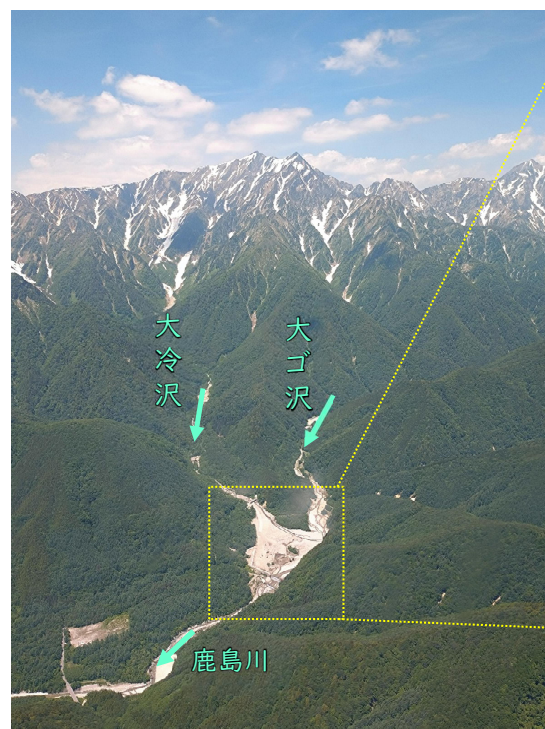


## 1-1-5 信濃川上流水系高瀬川流域 丸山砂防堰堤改築の推進

高瀬川流域の鹿島川は荒廃が激しく、河床内に不安定土砂が大量に堆積していることから、土砂生産・流出が活発な河川である。鹿島川の扇状地には大町市街地が控えているため、土砂流出に伴う洪水・土砂氾濫による災害を防ぐ必要があります。

丸山砂防堰堤は昭和37年3月に完成した鹿島川における基幹堰堤です。老朽化した本堰堤を改築(嵩上)することにより、効果量が大幅に向上して下流域の安全に資するのみならず施設の適切な機能の維持することができます。(令和8年度完成予定)

国土強靱化予算を活用し整備



改築により計画捕捉量 2.6 万m<sup>3</sup> 増  
河床からの土砂生産の抑制 7.4 万m<sup>3</sup> 増



## 1-2-1 姫川水系松川・平川流域 砂防堰堤補強の推進

松川は、白馬八方屋根スキー場、白馬ジャンプ競技場、温泉などのレクリエーション施設が集中し、平川沿いには別荘地が広がり、一大観光リゾート地が形成されており、地域産業の中心的地域となっています。またそれらとともに、JRや国道など重要幹線交通網等があり、これらを保全すべく、上流土砂の調節と不安定土砂の再移動防止を目的とし北股第1号砂防堰堤補強（天端摩耗対策）及び平川第4号砂防堰堤補強（天端摩耗対策、前庭部洗掘対策）の整備を行います。



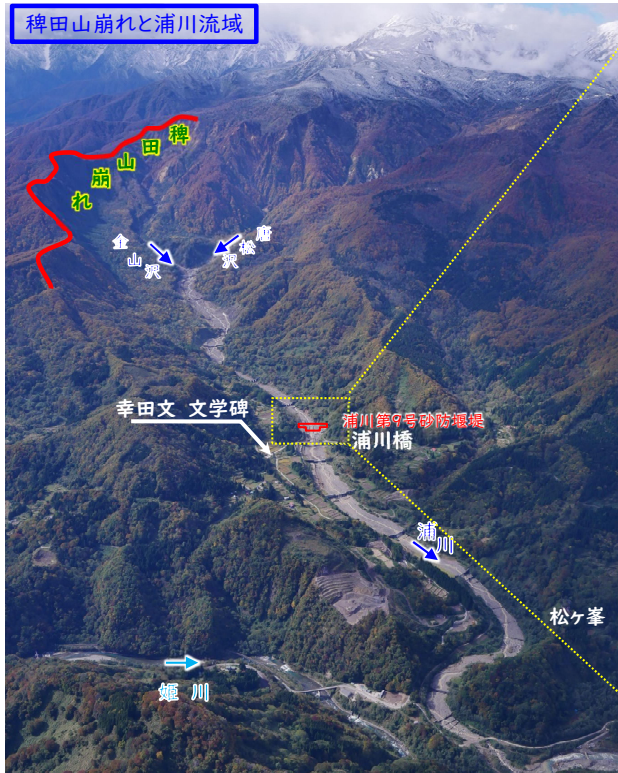
## 1-2-2 姫川水系浦川流域 浦川第9号砂防堰堤の推進

浦川流域は、明治44年8月稗田山大崩壊、昭和39年8月豪雨、平成7年7月豪雨など土石流災害が頻発する流域です。

上流土砂の調節と不安定土砂の再移動防止を目的とし浦川第9号砂防堰堤工事の整備を推進します。

国土強靱化予算を活用し整備

稗田山崩れと浦川流域



計画捕捉量 2.2 万 $m^3$

河床からの土砂生産の抑制 9.1 万 $m^3$



## 1-2-3 姫川水系浦川流域におけるICT施工（無人化施工）

### ■ 型枠ブロックを利用したICT施工（無人化施工）の実施（令和3年度）

姫川水系浦川において、侵食の進行した溪岸部の護岸施工にあたり、長大法面の崩落・落石の恐れがあることから、施工時の安全確保のため無人化施工を実施しました。

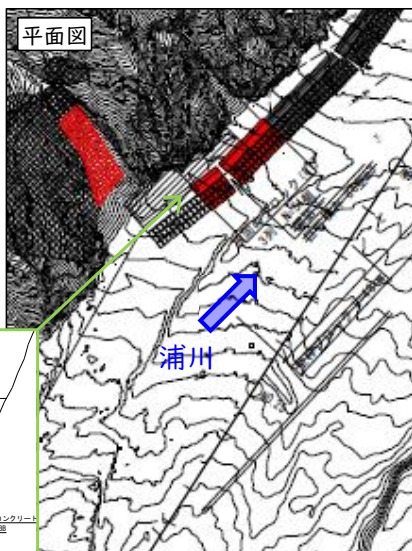
【施工内容例】護岸工 36m  
 ・土工:2310m<sup>3</sup>  
 ・コンクリート工:518m<sup>3</sup>  
 ・型枠工（型枠ブロック）:216個  
 ・無人BH（1.4m<sup>3</sup>） 1台  
 ・無人BH（0.8m<sup>3</sup>） 1台



無人化施工（土工）



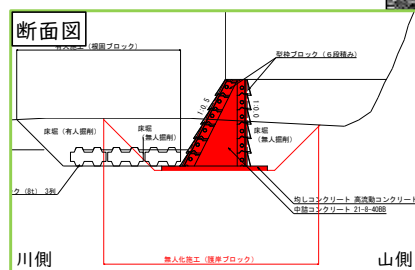
無人化施工（コンクリート工）



平面図



無人化施工（型枠ブロック据付）



断面図

## 1-2-4 姫川水系小滝川流域 田中川砂防堰堤の推進

### ■ 小滝川左支川田中川で発生した土石流への対策

平成28年8月の台風第9号に伴う大雨の影響で、小滝川右岸（系魚川市前川地区）の斜面が一部崩落したほか、左支川田中川にて発生した土石流により、発電施設の一部が被災しました。

砂防堰堤工の整備により、保全対象である電力施設を土石流による被害から保全するとともに、姫川水系の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である系魚川市をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。（令和10年度完成予定）

国土強靱化予算を活用し整備



計画捕捉量 2.1 万m<sup>3</sup>



## 1-2-5 姫川流域 葛葉上流第4号床固工の推進

姫川本川の葛葉地区は、平成7年7月11日から12日の梅雨前線豪雨による姫川の増水時に葛葉峠左岸山腹斜面の直下が溪岸侵食を受け、約12万m<sup>3</sup>もの土砂が下流に流出しました。

この土砂流出で葛葉地区下流域は河床が最大約10m上昇し、堤防上を越水・土砂氾濫が発生し、姫川温泉や国道148号、JR大系線に甚大な被害を及ぼしました。このため、再度災害防止のため、既設護岸工及び床固工の施設補強により、適切な施設効果を維持します。



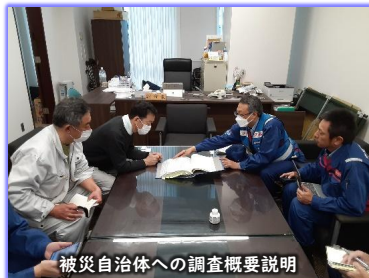
葛葉上流第4号床固工



## 2-1 大規模土砂災害への対応

(TEC-FORCE[令和6年能登半島地震災害、同年9月能登半島豪雨災害(石川県への派遣)])

- 令和6年能登半島地震では、石川県からの要請により北陸地方整備局からTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の砂防総司令班、被災状況調査班(砂防)、通信班(Car-SAT)等として、松本砂防事務所からのべ25名(R6.1.3(水)~3.19(火))が派遣されました。また、令和6年9月能登半島豪雨においても松本砂防事務所からのべ13名(R6.9.24(火)~10.11(金))が派遣されました。
- 松本砂防事務所からの派遣職員は、主に石川県輪島市、珠洲市等における土石流危険渓流、急傾斜地崩壊危険箇所等の土砂災害危険箇所の調査や通信途絶箇所における道路啓開状況等の報告を実施しました。
- TEC-FORCEの活動は公共土木施設や土砂災害危険箇所等において被災箇所(範囲)及び迅速な被害の状況の把握、危険度の判定、被害(概算)額の算定を行い、二次被害の発生及び被害の拡大防止、迅速な復旧、復興を支援することを目的に実施。各調査結果は、各被災自治体へ報告し、災害報告等に活用しました。



被災自治体への調査概要説明



被災状況調査(急傾斜地崩壊防止施設)



被災状況調査(急傾斜地崩壊防止施設)



被災状況調査(崖崩れ・落石状況)



被災状況調査(崖崩れ)



被災状況調査(地すべり)



被災状況調査(UAVによる空撮)



通信班(Car-SAT)



## 2-2 大規模土砂災害対応力の強化

### (大規模土砂災害を想定した地方自治体との合同防災訓練)

平成26年神城断層地震や平成28年熊本地震、令和元年東日本台風など大規模なものから、令和3年8月に長野県岡谷市で発生した局所的なものまで多くの土砂災害が長野県内をはじめ全国各地において頻発しています。

これらを踏まえ、国土交通省松本砂防事務所では、関係行政機関とともに、大規模土砂災害発生時に住民が適切に避難できるよう関係機関が取るべき一連の行動を確認・共有し危機管理体制の強化を図ることを目的とした合同防災訓練を開催しています。

#### ■令和7年度の開催概要

日 時: 令和7年7月10日(木) 13:30~16:20

参加機関: 糸魚川市、新潟県、新潟地方気象台、北陸地方整備局、松本砂防事務所 他 計47名 ※一部機関はリモートにて参加

メイン会場: 糸魚川市ふれあいセンター ビーチホールまがたま

訓練方式: 学習型訓練

災害想定: ○強震度の地震に起因する河道閉塞・地すべり

○地震発生後の豪雨※によって拡大する土砂災害(複合災害)

※)平成7年7月11日豪雨災害相当を想定

#### 糸魚川市長による講評

本訓練を通じ、災害時の意思決定は人命の救助に直結することから、責任の重大さを痛感した。的確な行動をとるため、地域特性を踏まえた上での様々な思案が必要である。今後も関係機関と連携を深めることで災害時の対応力の強化に尽力したい。

糸魚川市長 久保田郁夫氏



#### 参加職員によるふりかえり



大規模土砂災害発生時における各機関との連携や情報共有の流れを確認することができた。訓練での学びを活かして防災力の向上を図りたい。



## 2-2 大規模土砂災害対応力の強化

### (長野県への備蓄資材の貸与:白馬村黒豆沢土石流災害の例)

令和5年12月16日に発生した白馬村黒豆沢土石流災害への長野県の応急対策のため、

松本砂防事務所が所有する備蓄資材を貸与

令和6年4月13日に小規模な土石流発生

約300m<sup>3</sup>の土砂を捕捉

応急対策のための安全確保



アンカーネット式構造物



仮設導流堤(ブロック約300個)

令和6年3月  
までに  
完成



アンカーネット式構造物

- ・令和6年4月13日の土石流発生時に土石流センサーが作動し、作業員は避難。けが人なし。
- ・たまった土砂はネットを開放し撤去。再度ネットを緊張し、引き続き設置。

- ・松本市安曇上高地内の梓川では、環境省管理の護岸が出水により被災した際には、コンクリートブロックを緊急的に貸与。(令和2年度から135個貸与中)

迅速かつ安全な応急対策に貢献。



## 2-3 焼岳・乗鞍岳火山噴火緊急減災対策の推進

火山災害は、いつどこで起こるか想定が難しいです。このため、火山噴火に伴い発生する土砂災害に対して、ハード対策とソフト対策からなる緊急対策を迅速かつ効果的に実施し、被害をできる限り軽減（減災）することにより、安心して安全な地域づくりに寄与しなければなりません。

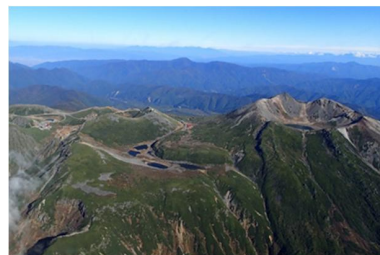
このため管内の活火山である焼岳・乗鞍岳について火山噴火による土砂災害への減災対応を図るために「火山噴火緊急減災対策砂防計画」を策定しました。

## ■日本の活火山 火山

常時觀測火山※ 50火山

・松本砂防事務所管内における対象火山

### 3火山(焼岳・乗鞍岳・新潟焼山)



乗鞍岳の想定噴火口付近



大正4年の焼岳大噴火

## ■火山噴火緊急減災対策砂防計画の作成(焼岳、乗鞍岳)

## 噴火発生前

## ソフト対策

- ① 火山防災協議会作成のハザードマップを参考とし、  
降灰後の土石流と融雪型火山泥流による想定被害箇所を把握
- ② 緊急減災対策砂防計画として監視体制の構築
- ③ 実践的な火山防災計画のための防災訓練を実施。

噴火發生後

緊急調査

降灰量調査やリアルタイムハザードマップ作成 など

## 緊急ソフト対策

監視・観測機器の緊急的な設置 など

## 緊急ハード対策

仮設堰堤、仮設導流堤などの整備 など

※全国111の活火山のうち、「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山」として火山噴火予知連絡会によって選定された50火山については、気象庁が噴火の前兆を捉えて噴火警報等を適確に発表するために、地震計、傾斜計、空振計、GNSS観測装置、監視カメラ等の火山観測施設を整備し、関係機関（大学等研究機関や自治体・防災機関等）からのデータ提供も受け、火山活動を24時間体制で常時観測・監視しています。

■乗鞍岳火山噴火緊急減災対策砂防計画の概要（令和2年3月策定）

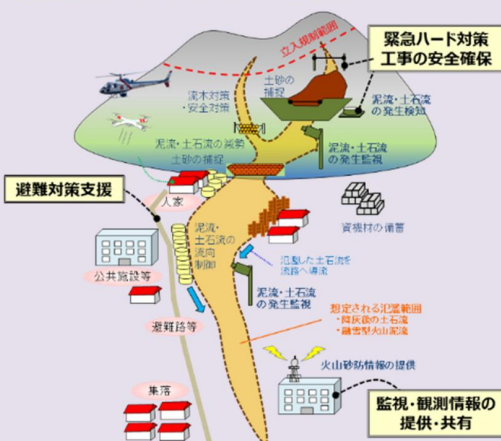
## ■緊急対策（ハード・ソフト）の主な内容

対策の実施機関：長野県、岐阜県（※要請により国土交通省が支援）

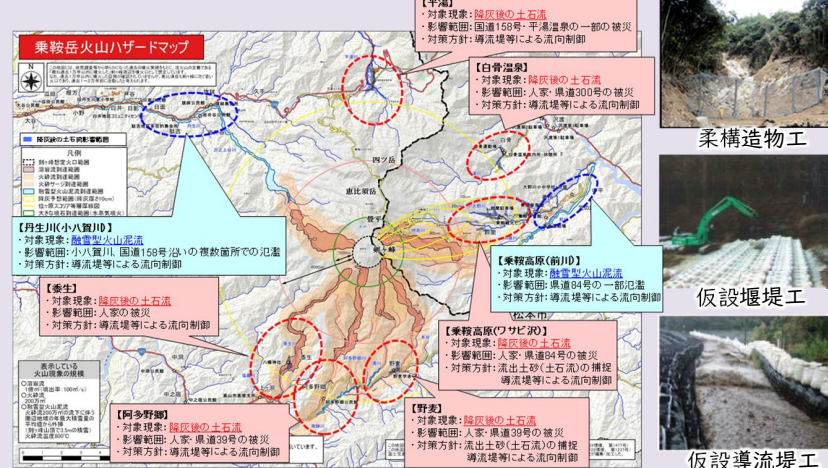
(目的)土砂移動の氾濫をできる限り減少させ、保全対象付近で被災人家を無対策時より低減させるほか、避難対策支援として最低限の避難路の確保ができるようにする。

(工法)対策として、柔構造物工、コンクリートブロック積み仮設堰堤工や仮設導流堤工などを実施する。

### 【乗鞍岳における緊急ソフト対策のイメージ】

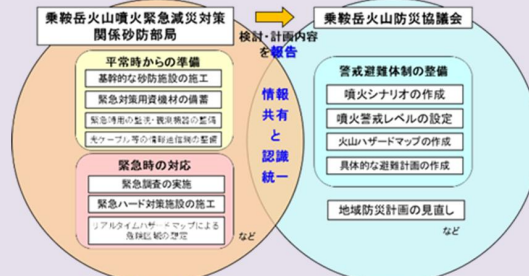


【乗鞍岳噴火に伴う土砂移動への緊急減災対策実施予定箇所(案)】



## ■焼岳・乗鞍岳火山防災協議会との連携

－実効性向上に向けた取り組みに向けて－  
各関係機関での役割分担を確認しつつ、継続的な連携・情報共有を図る必要があります。このため火山防災協議会と連携し、火山噴火を想定した防災演習の実施、防災教育や広報活動等を行い、乗鞍岳における火山の知識と防災向上に努めていきたいと考えております。





### 3-1 砂防事業の効果（信濃川上流水系梓川流域）

令和6年7月の豪雨において梓川流域の八右衛門雨量観測所では、連続雨量163mmを記録し、八右衛門沢では土砂流出が発生しました。堆積工が整備されており、約1,500m<sup>3</sup>の土砂を捕捉しました。

日本屈指の山岳景勝地である上高地への主要アクセス道である県道上高地公園線や宿泊施設等、保全対象への被害を未然に防止し効果を発揮しました。

令和7年は、約160万人が上高地に訪れ。令和6年において上高地での観光消費額は、約94億円。



### 3-2 砂防事業の効果（姫川水系松川流域）

平成7年7月水害において松川流域は、それまでの最大降雨量(総雨量582mm)を記録し、これは昭和34年伊勢湾台風災害時に対して約3倍に及ぶ大雨でした。さらに平成29年には過去最大の総雨量987mmを記録しましたが、砂防堰堤等の整備が進められており、土砂災害の発生が抑制・防止され、被害が減少しました。





# 3-3 砂防事業の有効活用[ストック効果](姫川水系平川・松川流域)

## 「産業、なりわい」を守る砂防事業(地域の観光産業)

○昭和30年代まで、白馬村は度々土石流や土砂・洪水氾濫による被害を受けました。

その後、国・県の連携した砂防事業により地域の安全度が向上し、集落や観光施設の立地が進む等、土地利用が高度化。

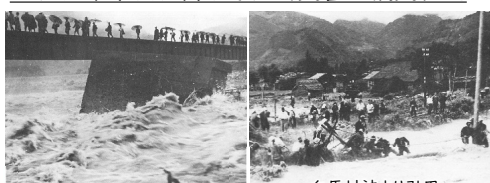
○現在は年間約290万人※が訪れる四季の自然を活かした国際的な山岳リゾート地となっています。 ※出典:白馬村HP(令和7年)

砂防事業が、白馬村の「なりわい」である観光を支えるとともに、住民の安全・安心な暮らしを守り続けています。

「はじめに砂防ありき」の碑



昭和34年(1959年)9月松川災害の被災状況



白馬村誌より引用

砂防事業による保全(白馬村 黒豆沢)



・宿泊・別荘・飲食の集積が進み、スキー・登山・温泉と結びつく観光関連産業が地域経済を支えています。

・砂防による安全確保が投資・雇用・人材定着を後押しし、観光の継続・発展と「持続可能な観光まちづくり」を支えています。

※本資料は国土交通省松本砂防事務所と長野県で共同で作成したものです。

MATSUMOTO SABO OFFICE

あわせ信州 多彩な風土で 魅力を育む

# 3-4 砂防事業の効果[土砂・洪水氾濫に伴う被害軽減](姫川水系)

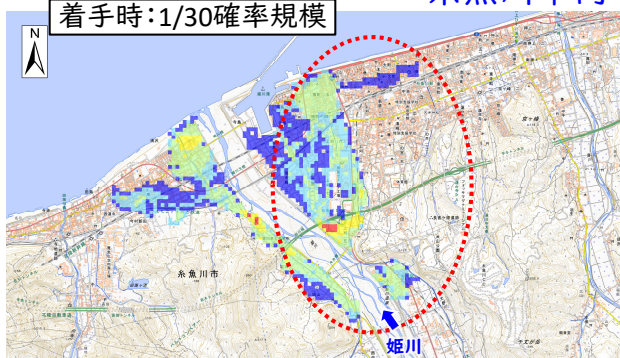
○姫川水系における土砂・洪水氾濫に伴う被害は、新潟県系魚川市街地における氾濫被害と、各支川流域内及び姫川本川との合流点付近における氾濫被害が想定されます。

○事業目標が完了した場合、系魚川市内では30年超過確率規模の降雨で発生する氾濫被害の範囲が縮小し被害が軽減されます。

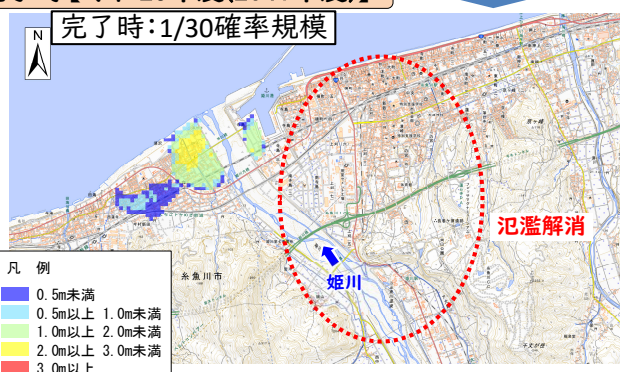
また、長野県北安曇郡白馬村の松川・平川流域では50年超過確率規模の降雨で発生する氾濫被害が解消します。

着手時【平成22年度(2010年度)】

系魚川市内

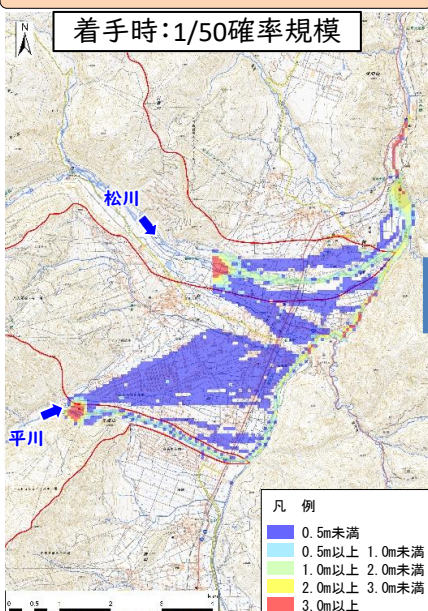


完了時【令和23年度(2041年度)】

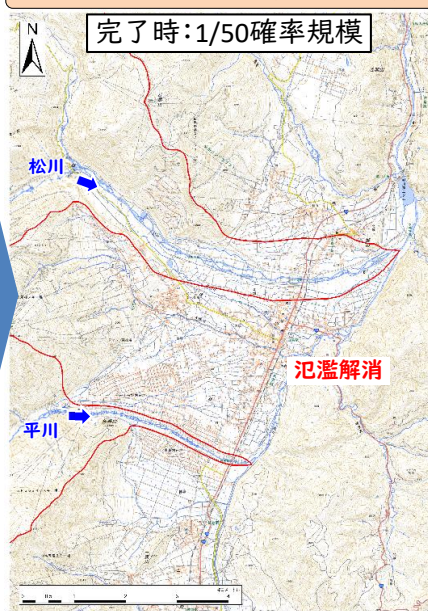


白馬村内

着手時【平成22年度(2010年度)】



完了時【令和23年度(2041年度)】





## 3-5 砂防インフラツーリズム(姫川水系 おたり直轄砂防めぐり)

長野県小谷村でインフラツアーを開催している(一社)小谷村観光連盟が、直轄砂防施設を対象としたツアーを企画。令和5年10月に初回が開催され、定員18名で丸1日かかるツアーとなるが、募集開始後数日で定員満員。令和5年11月の第2回開催の募集も満員御礼でキャンセル待ちの盛況ぶり。

### ■(一般社団法人)小谷村観光連盟のツアーHPサイトの紹介文<抜粋>

「新企画!国土交通省管轄となる「直轄砂防」にスポットを当てたツアーです。小谷村内にある直轄砂防施設や砂防工事現場をめぐりながら、国土がどのように保全されているのか、国土を保全するために何が行われているのか、これらを肌で感じ、見て、考えていただきたいと思います。通常では立ち入ることのできない現場など、レア感満載の今期一押しのプランです。」

■ツアー行程 小谷村役場(8:00) → 中股川1~3号砂防堰堤 → 姫川左岸・葛葉峠山腹砂防工事現場 → 蒲原沢土石流災害現場 → (昼食) → 浦川上流域 → 浦川第2号上流砂防堰堤 → 浦川第8・9号砂防堰堤(浦川橋より) → 浦川下流第3~6号砂防堰堤 → 浦川スーパー暗渠砂防堰堤 → 小谷村役場(16:15)

### 【当日ツアー状況】



中股川第3号砂防堰堤



葛葉山腹工



浦川第2号上流砂防堰堤



浦川スーパー暗渠砂防堰堤



浦川下流第3~6号砂防堰堤



浦川第9号砂防堰堤<浦川橋>

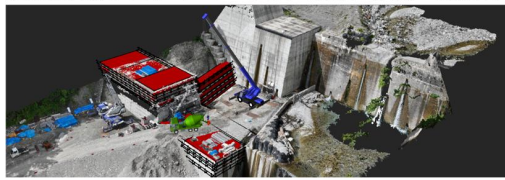
## 3-6 工事安全対策の強化

- 平成8年12月6日に死者14名、負傷者9名を出した蒲原沢土石流災害から令和8年度で30年となります。
- この災害を風化させることなく、砂防工事現場の安全対策向上を目的に松本砂防事務所工事安全対策研究発表会を平成10年から実施しております。
- 工事安全研究発表会の発表を通じ、砂防工事の安全対策でのBIM/CIM活用事例が広がっています。

BIM/CIM (Building / Construction Information Modeling, Management) とは、建設事業で取扱う情報をデジタル化することにより、調査・測量・設計・施工・維持管理等の建設事業の各段階に携わる受発注者のデータ活用・共有を容易にし、建設事業全体における一連の建設生産・管理システムの効率化を図ることです。

### 令和6年度工事安全研究発表会 発表論文 最優秀賞

3DCIMモデルに時間軸を加えた4Dシミュレーションを用い各施工段階を可視化し災害リスク、安全を確保した最適工程を把握



BIM/CIM適用工事(受注者希望型) 受注者から活用希望あり

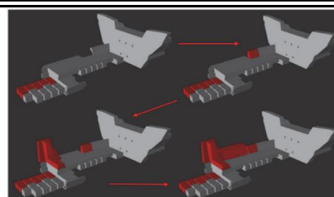
- ・2班の同時施工で連携が必要な現場。
- ・4Dシミュレーションは現場経験によらず、直感的に理解しやすい。
- ・監理技術者が作業員とともに、ミーティングにおいて、施工手順・工程に無理がないかの確認、災害リスクの洗い出し・対策を実施。
- ・豊富な現場経験がないと理解が難しい、構造物干渉部となる副堰堤工と側壁工のコンクリートの打設順序、副堰堤工の足場撤去、型枠撤去の時期を作業員と確認。  
**無事故で施工完了。**

### 令和7年度工事安全研究発表会 発表論文

令和6年度工事安全研究発表会の発表論文(上記)を参考に、構造物の3Dモデルを作成。

- ・3DCIMモデルを使用し、施工順序毎に構造物を表示。既設構造物との取り扱いや最終的な出来形の理解度向上に繋がり、工程ごとの危険箇所の洗い出しに活用。
- ・外国人技能実習者にも「わかりやすい」と好評。**無事故で施工完了。**

BIM/CIM適用工事(受注者希望型) 受注者から活用希望あり



© 国土交通省北陸地方整備局

松本砂防事務所

〒390-0803 長野県松本市元町1-8-28

Tel : 0263-33-1115

Fax: 0263-33-6086

E-mail: matumoto@hrr.mlit.go.jp



SABO

MATSUMOTO OFFICE

○梓川出張所

○姫川出張所

〒390-1501 長野県松本市安曇124-10

Tel: 0263-94-2344 Fax: 0263-94-2945

〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村北城6929-2

Tel: 0261-72-2254 Fax: 0261-72-3544



←ホームページ